

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立大宮西小学校の結果

～分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について～

区 名	旭区
学 校 名	大阪市立大宮西小学校
学 校 長 名	原 雅史

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和8年4月に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・大阪市立大宮西小学校では、第6学年 41名

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立大宮西小学校の結果概要

国語の平均正答率は56（大阪市59 全国60.9）、算数は52（大阪市56 全国56.4）と下回る結果であった。平均無回答率は国語1.5（大阪市2.8 全国3.4）、算数1.5（大阪市2.8 全国3.2）と両教科ともに低く、多くの児童が粘り強く回答しようとしていることが分かった。児童質問紙調査の回答では、国語科の勉強に対する質問に対し、肯定的な回答をする児童の割合は大阪市・全国より上回っている。「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」37.2（大阪市33.7 全国31.9）、「あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか」51.2（大阪市44.0 全国39.6）、「分からないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか」37.2（大阪市32.0 全国28.7）、「授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか」72.1（大阪市53.5 全国52.7）等と学びを深めるための基盤となる質問に対して、大阪市や全国平均を上回っている。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】

「A 話すこと・聞くこと」は全国平均を2.5ポイント上回っている。特に「【文章】を読んで考えたことを自分の経験と結び付けてまとめて書く」問題では、正答率が87.8ポイントに達し、全国平均（76.4ポイント）を大きく上回っており、自分の考えを文章にまとめる力と意欲が高い。子ども同士の「学び合い」を重点に置いた主体的な学びを継続して行ってきた結果である。「（1）言葉の特徴や使い方に関する事項」では、全国平均を下回っており、漢字や語彙など基礎的な知識事項の定着に課題がある。

【算数】

平均正答率を全国平均と比べると全体では、4.4ポイント下回っている。「A 数と計算」においては、全国平均との差は2.6ポイントとなっている。概数やカードを用いた数値構成（最も大きい数をつくる）等は全国平均を上回っている。基礎的な数の理解に対する定着は進んでいる。「C 変化と関係」は平均正答率が31.7ポイントと全国平均（41.1ポイント）を大きく下回っている。百分率を用いた基準量を求める、割合を表す図の選択をする、二次元の表から条件に合う数値を読み取る等、情報を多角的に整理して考えることに課題がある。

質問調査より

「授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか」に72.1%の児童が肯定的回答をしており、全国（52.7%）や大阪市（53.5%）を大きく上回っている。「学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思う」に51.2%の児童が回答しており、全国平均（39.6%）を10ポイント以上、大阪市平均（44.0%）も大きく上回り、互いを認め合う良好な学級風土が構築されている。「学校の勉強について、家族とどれくらい話すか」に53.5%の児童が「ほぼ毎日」と回答しており、全国（40.6%）や大阪市（43.8%）を大きく上回った。家庭での対話が活発であることは、学習を支える強力な基盤になると考えられる。「朝食を毎日食べている」と回答している児童は65.1%と全国（83.1%）や大阪府（80.3%）と比較して約15～18ポイント下回っている。午前中の集中力や脳の活性化等学校での学習に直結する生活習慣の改善が必要である。「平日に全く読書をしない」と回答した児童が46.5%と半数近くにのぼり、全国平均（26.3%）を20ポイント以上上回った。読書量の不足は、中長期的な語彙力や思考力、そして本校の課題である「算数の情報の整理・分析」等の読解が必要な分野の学力向上を阻む要因の一つとなっている。平日に「SNSや動画視聴を4時間以上行う」と回答した児童が37.2%と、全国平均（21.9%）を大幅に上回っている。メディア利用の長時間化が、学習時間や睡眠時間、読書時間の圧迫を招いている可能性が高いと推察される。

今後の取組（アクションプラン）

対話的な学びで表現力を磨く

高い記述意欲（正答率87.8%）と否定されない学級風土を活かし、教え合いを深めていく。苦手領域でも友達と図や言葉で説明し合う活動を重視し、論理的な思考力と書く自信を確かな学力へとつなげていく。

家庭と連携した生活リズムの確立

会話の多い家庭環境（53.5%）を活かし、朝食摂取やメディア時間の改善を保護者と共に進めたい。生活リズムを整えて午前中の集中力を高めることで、子どもたちの「学ぶ力」を最大限に引き出す。

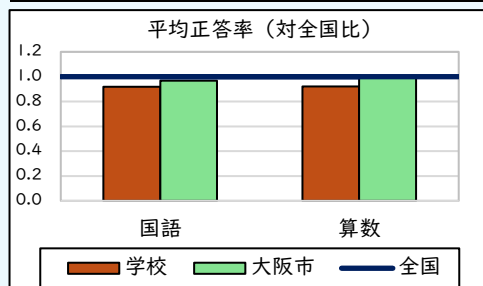
言葉の力と挑戦する心の育成

読書習慣の育成と言葉の教育に注力する。お薦めの本を紹介し合う等の「学び合い」を通じて語彙力と読解力を底上げし、本校の強みである粘り強さを活かして、難問にも自信をもって挑戦する心を育てていく。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果の概要

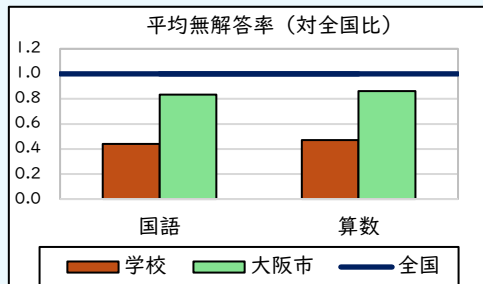
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	56	52
大阪市	59	56
全国	60.9	56.4



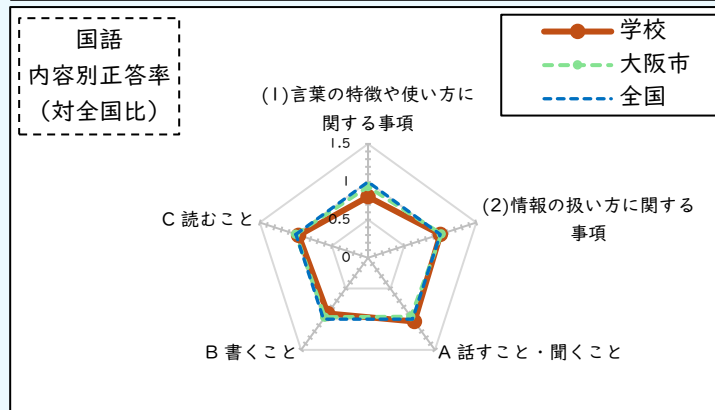
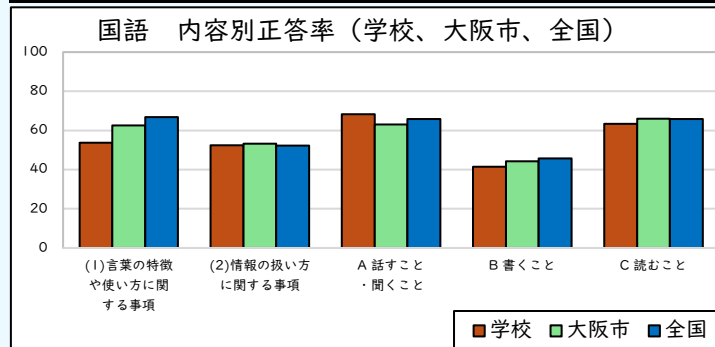
平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	1.5	1.5
大阪市	2.8	2.8
全国	3.4	3.2



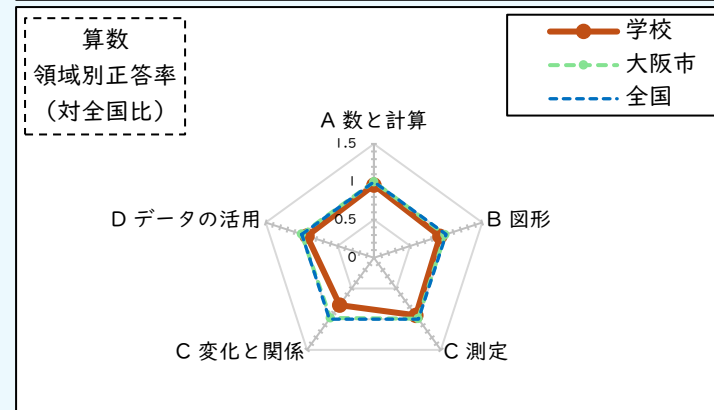
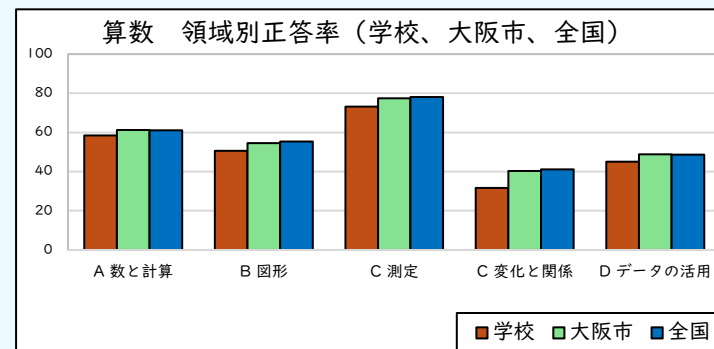
【国語】内容別正答率

学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に 関する事項	4	53.7	62.5	66.8
(2)情報の扱い方に 関する事項	2	52.4	53.2	52.3
(3)我が国の言語文化 に関する事項	0	-	-	-
A 話すこと・聞くこと	3	68.3	63.1	65.8
B 書くこと	2	41.5	44.2	45.7
C 読むこと	2	63.4	66.0	65.9



【算数】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	58.5	61.2	61.1
B 図形	4	50.6	54.5	55.3
C 測定	1	73.2	77.5	78.1
C 変化と関係	3	31.7	40.3	41.1
D データの活用	4	45.1	48.8	48.6



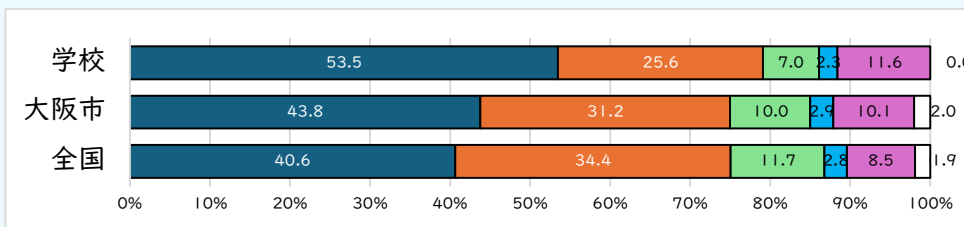
令和8年度 全国学力・学習状況調査 児童質問調査より

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号 質問事項

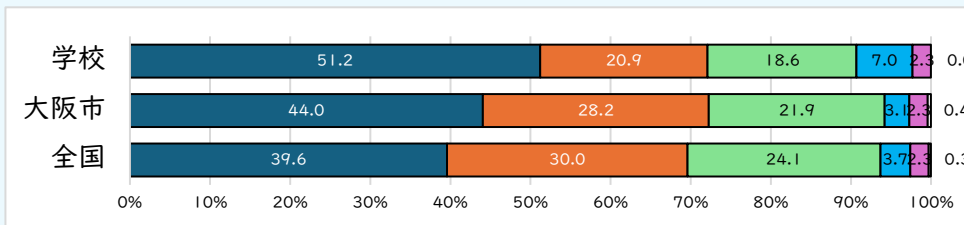
※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(6) 学校の勉強のことについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか



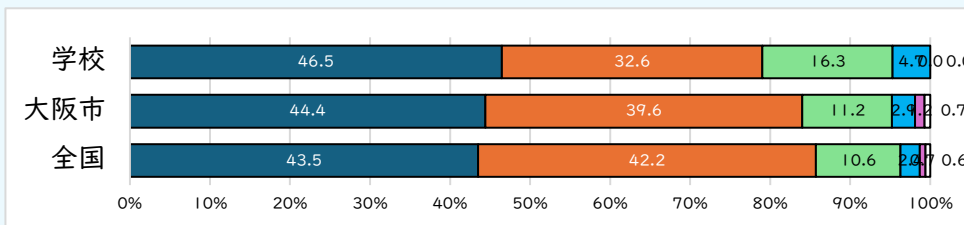
1 ほぼ毎日
2 週に1~2回
3 月に1~2回
4 年に1~2回
5 ほとんど、または、全くない

(20) あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか



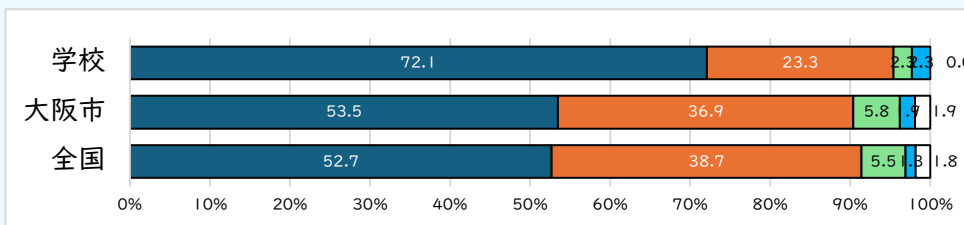
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらともいえない
4 どちらかといえば、当てはまらない
5 当てはまらない

(42) 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



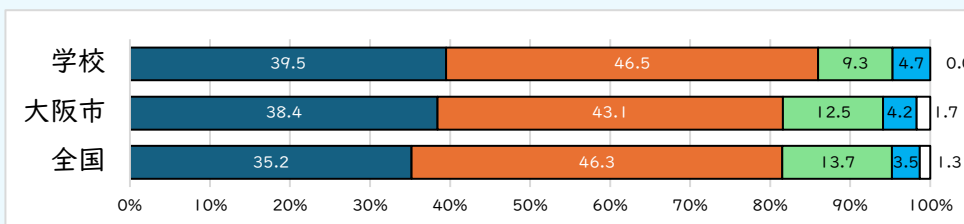
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない
5 学級の友達との間で話し合う活動を行っていない

(46) 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にしてお互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(49) あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

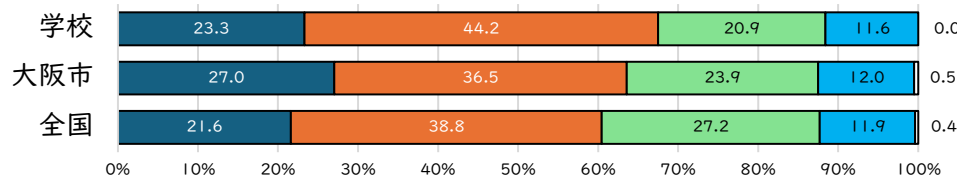
令和8年度 全国学力・学習状況調査 児童質問調査より

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号 質問事項

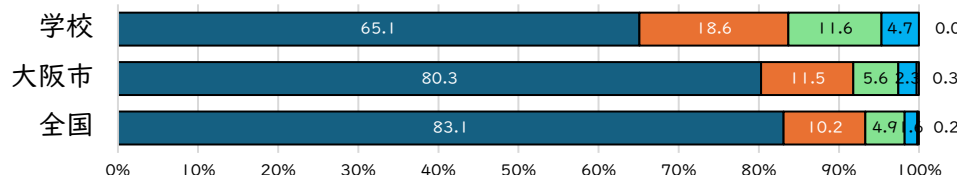
※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(52) 国語の勉強は得意ですか



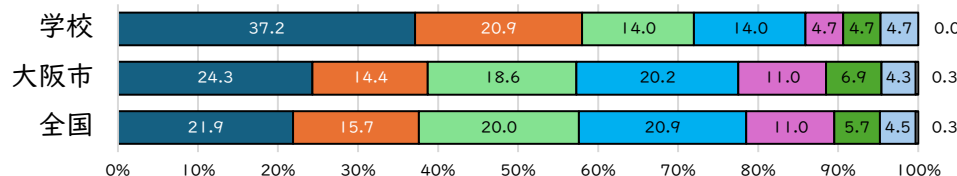
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(1) 朝食を毎日食べていますか



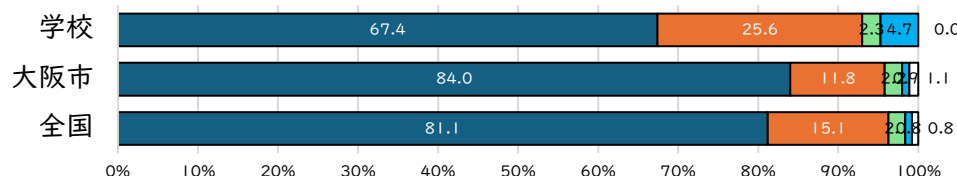
1 している
2 どちらかといえば、している
3 あまりしていない
4 全くしていない

(4) 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等（以下、「スマートフォン等」）でSNSや動画視聴などをしますか（スマートフォン等を使って学習する時間やゲームをする時間は除く）



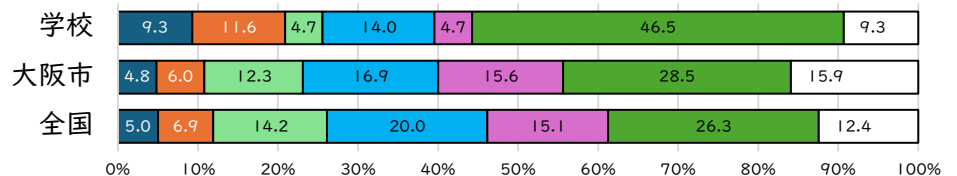
1 4時間以上
2 3時間以上、4時間より少ない
3 2時間以上、3時間より少ない
4 1時間以上、2時間より少ない
5 30分以上、1時間より少ない
6 30分より少ない
7 スマートフォン等を持っていない

(12) いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(26) 学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書を行いますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）



1 2時間以上
2 1時間以上、2時間より少ない
3 30分以上、1時間より少ない
4 10分以上、30分より少ない
5 10分より少ない
6 全くしない

令和8年度全国学力・学習状況調査 学校質問調査より

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号

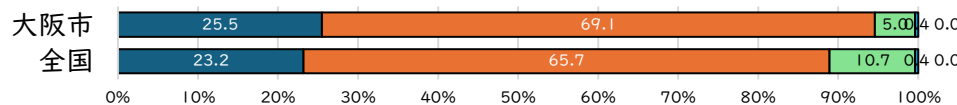
質問事項

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(7)

調査対象学年の児童は、熱意をもって勉強していると思いますか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、そう思う

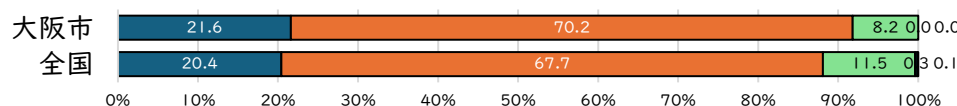


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(26)

調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、そう思う

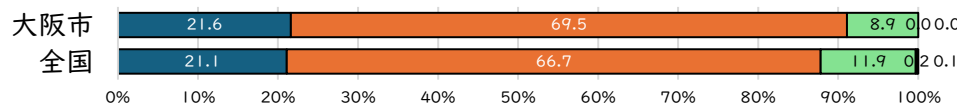


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(28)

調査対象学年の児童は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、そう思う

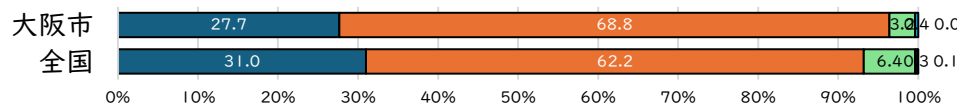


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(29)

調査対象学年の児童は、授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると思いますか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、そう思う

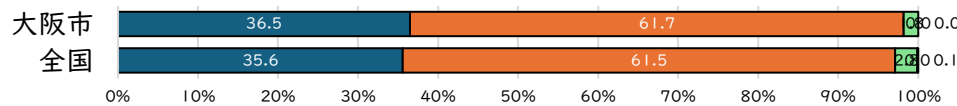


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(48)

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、文章を読んで理解したに基づいて、自分の考えをまとめることができるような指導を行いましたか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、行った



1 よく行った
2 どちらかといえば、行った
3 あまり行わなかった
4 全く行わなかった